

授業科目(ナンバリング)	福祉特論 G (DG310)			担当教員	山下彦・野田健		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本授業は、現代社会において生きていく時に必要となる「ソーシャルワーク」に関すること、並びに法人・会社等で働く時に必要となる「経営」に関することを学ぶことを通じて、受講者一人ひとりが人間尊重の理念を醸成し、社会に貢献することの意義を見出すことをねらいとする。							①②⑤
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	「ソーシャルワーク」「経営」に関する知識を高め、日常生活にその知識を活かすことができる。				レポート	40%	
情報収集、分析力	「ソーシャルワーク」「経営」に関する事例に対し、知識を活かしてその事例の解決方法を見出すことができる。				授業内課題	30%	
コミュニケーション力	積極的に他者と交流することができる。				授業態度等	10%	
協働・課題解決力	1つの事柄に対し、適切な姿勢で他者と協力・検討することができる。				授業態度等	10%	
多様性理解力	社会に様々な人・見解等があることを理解することができる。				授業態度等	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>レポート (40%) : 授業で説明した「ソーシャルワーク」「経営」の内容について、それぞれの最終コマにてレポート課題を提示し、提出物をもって評価する。</p> <p>授業内課題 (30%) : 授業内で行う事例検討の成果物や発表の内容を評価する。なお、グループで実施した事例検討の成果物や発表の内容は、グループ評価という形で個人の評価を反映させる。</p> <p>授業態度等 (30%) : 能動的な学修をしているかを評価する。講義形式における授業態度はもちろん、事例検討や発表等の姿勢についても評価の対象とする。</p> <p>フィードバック : 事例検討の成果物や発表の内容については、随時フィードバックしていきながら、個々人はもちろん、クラス全体の理解度を高められるように実施していく。</p>							
授業の概要							
<p>本授業は、社会福祉学的視点から捉えた「ソーシャルワーク」や「経営」について理解を深め、社会生活を営む力を養ってほしいと願い、開講するものである。ついては、「社会生活」という人間関係を基盤にした内容でもあるため、講義形式にて授業を進めるほか、ペアワークやグループワーク、ディスカッション等を適宜取り入れ、受講者同士が互いの価値観や考え方を共有していけるよう授業を進めていく。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：教科書は使用しない（授業中に資料を配布する）</p> <p>参考書：上野谷加代子他編（2019）『新版よくわかる地域福祉』ミネルヴァ書房、川口清史他編（2005）『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、株式会社日本総合研究所経営戦略研究会（2012）『経営戦略の基本』日本実業出版社</p> <p>指定図書：山縣文治他編（2016）『よくわかる社会福祉 [第11版]』ミネルヴァ書房、高橋伸夫編（2018）『よくわかる経営管理』ミネルヴァ書房</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>日頃から、新聞や雑誌、ウェブ情報から「ソーシャルワーク」や「経営」に関連する記事等を読み、社会情勢を理解する習慣を身につけてほしい。また、ボランティアやアルバイト等の自分自身の体験というものは、学修していく際に非常に有効な資源であるため、ぜひ学修の場で活かしてほしい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	この授業の流れや評価方法等について説明を行う。また、「ソーシャルワーク」「経営」という言葉の意味について考える。(山下・野田)	予・復)「ソーシャルワーク」「経営」という言葉の意味をまとめる。
2	ソーシャルワーク① 社会福祉と援助	社会福祉の援助資源、援助方法、援助観について学ぶ。(山下)	予)「援助」を考察。 復)社会福祉と援助についてまとめる。
3	ソーシャルワーク② 社会福祉の対象とニーズ	ライフステージの考え方とニーズについて学ぶ。(山下)	予)「対象」を考察。 復)対象とニーズについてまとめる。
4	ソーシャルワーク③ ソーシャルワークの体系	ソーシャルワークの体系と展開過程について学ぶ。(山下)	予)「体系」を考察。 復)体系と展開過程についてまとめる。
5	ソーシャルワーク④ 地域福祉	くらしをまもる機能とつながりをつくる機能について学ぶ。(山下)	予)「地域福祉」を考察。 復)地域福祉における2つの機能についてまとめる。
6	ソーシャルワーク⑤ ボランティアとNPO	ボランティア活動とNPO活動の意義とその支援政策について学ぶ。(山下)	予)「ボランティア」を考察。 復)活動の意義と支援政策についてまとめる。
7	ソーシャルワーク⑥ モチベーションとマネジメント	ボランティア活動のモチベーションとマネジメントについて学ぶ。(山下)	予)モチベーションを考察 復)モチベーションとマネジメントをまとめる。
8	ソーシャルワーク⑦ 参加と参画	災害ボランティアにおける参加と参画について学ぶ。(山下)	予)「参加」を考察。 復)参加と参画についてまとめる。
9	経営① 経営と組織	チームマネジメントやモチベーション、集団力学について学ぶ。(野田)	予)「組織」を考察。 復)組織に必要なことをまとめる。
10	経営② リーダーシップ	リーダーシップの理論やその指標について学ぶ。(野田)	予)「リーダー」を考察。 復)リーダーシップについてまとめる。
11	経営③ サービス評価	自己評価や第三者評価の意義やその方法について学ぶ。(野田)	予)「サービス」を考察。 復)サービス評価についてまとめる。
12	経営④ 苦情対応	苦情の意味やそれへの対応方法について学ぶ。(野田)	予)「苦情」を考察。 復)苦情対応についてまとめる。
13	経営⑤ リスクマネジメント	リスクマネジメントの理論やその方法について学ぶ。(野田)	予)「リスク」を考察。 復)リスクマネジメントについてまとめる。
14	経営⑥ 人事・労務管理	人事や労務に関する法律やその管理方法について学ぶ。(野田)	予)「人事」を考察。 復)人事・労務管理についてまとめる。
15	経営⑦ 会計・財務管理	会計・財務の意義やその関係書類の見方について学ぶ。(野田)	予)「財務」を考察。 復)会計・財務についてまとめる。
16	定期試験		